

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)		都市型ホテル（副支配人）	・9～10月は国体開催やインバウンド客の予約が多く入っており、売上は間違いなく伸びる。
		百貨店（営業担当）	・国が予定しているキャッシュレス決済や軽減税率などにより、クレジットカードの所有の有無や消費税増税前後のいずれが得かは、各消費者の判断に左右されるところが大きく、不透明な部分は多い。ただし、食品や化粧品などの消耗品はやや回復傾向にあり、トータルでは消費税増税が近づくとつれて、やや良くなる。
		百貨店（役員）	・9月までは高額品や消耗品を中心に、増税前の駆け込み需要が見込まれる。
		コンビニ（経営者）	・今月末にイベントがあるので、幾らか売上は増える。
		衣料品専門店（経営者）	・消費税増税によって、一時的に駆け込み需要が増すのではないかと。
		衣料品専門店（統括）	・今年は梅雨がなかなか明けず、心配していた。これから夏祭りに向けて、客が大きく動く時期になる。最近、祭り用品を扱う店がだんだんと少なくなり、客が困っている。いろいろと探して、当店に来店する客も増えたため、販売に結び付くのではないかと。これから秋までは祭りである程度の客を確保できると期待をして、商売に向かっていきたい。
		家電量販店（店長）	・増税の影響や東京オリンピック需要で、やや良くなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・8月に入れば、夏休みやお盆休み等もあるので、かなりの数の県外客が観光地を目指してやってくる。9～10月は紅葉の時期で、黙っていても観光客が増える。当社は観光地を控えているので、8～10月は多少上向きになる。
		住関連専門店（店長）	・梅雨明けが遅れた反動が予想される上に、増税前需要が考えられるため、やや良くなる。
		住関連専門店（仕入担当）	・遅れていた夏物の動きは、梅雨明けとともに活発化し、増税前の駆け込み需要も少しずつ顕在化してくる。
		都市型ホテル（営業）	・今後の厳しい状況のなか、社員全員が危機感を持ち、全社員営業やその一環として一斉営業を実施する。売上確保に向けて意思統一することにより、良くしていきたい。
		通信会社（経営者）	・地域での売上を諦め、中央や海外との取引へシフトしている。数か月以内には売上につなげたい。
		通信会社（営業担当）	・9月末の消費税増税までの限定的な駆け込み需要は期待できる。
		商店街（代表者）	・消費税増税の駆け込み需要や消費税率引上げ前にプレミアム付き商品券を発行することになっているが、終了後の反動減に不安がある。
		百貨店（店長）	・参議院議員選挙が終わったものの、生活に変化を求める動きは少ないと感じる。東京オリンピック、パラリンピックまで1年を切ったが、景気への好影響を感じることも少ない。
		スーパー（商品部担当）	・天候不順による農作物などへの影響、消費税増税を控えた時期という懸念はあるが、ここ数か月の来客数や客単価に変化はないため、期待も込めて、変わらない。
		コンビニ（経営者）	・今月の売上は前年比97%なので、大きく割れることはない。しかし、消費税増税により、客のマインド低下が不安材料である。コンビニを取り巻く環境悪化、人材不足、最低賃金の上昇等が、懸念材料である。
		コンビニ（店長）	・梅雨明けが遅く、上～中旬と低温で降雨も多く、夏祭りの人出も最悪の状態である。参議院議員選挙もマイナスに影響している。2～3か月後は消費税増税もあるので、少しは良くなるだろうが、余り期待はできない。
	衣料品専門店（販売担当）	・当店のようない業種関係の業界では、暇な2月と8月というのは定番で、社会現象くらいの感じである。今年も残暑が厳しいとすれば、この先を考えても、今と同様に、どん底の悪さが続いていく。	
	自動車備品販売店（経営者）	・客の様子をみると、何か新しい物、変わった物に踏み込む思い切りの良さを感じられない。ちゅうちょしているような感じで、話の進み具合もスピード感がない。	
	一般レストラン（経営者）	・日照不足から野菜の仕入単価が上がっている。米価の懸念も増幅している。これは一般消費者も同じなので、景気が上向くとは思えない。	
	都市型ホテル（経営者）	・景気回復の動きがみえない。	

	都市型ホテル（スタッフ）	・8月は設備投資に伴う工事が入っているため、5日間宴会場が稼働できず、売上は減る見通しである。9～10月も大型宴会の受注に苦戦している。宿泊は前年、目標共にクリアしており、相変わらず好調である。レストランも1か月ぶりに前年、目標を共に超える見通しである。
	旅行代理店（経営者）	・10月以降のパッケージツアー料金設定ができていない商材が多く、現時点では良くなる兆しは見当たらない。
	タクシー（経営者）	・昼も夜も全体的に動きが変わらないので、この先も変わらない。
	通信会社（経営者）	・回線の品質や速度よりも、安い利用料を選ぶ人が増えている。
	通信会社（総務担当）	・急減していた販売数が、収束してきて毎月ほぼ同じになっている。
	通信会社（局長）	・客の傾向自体には変化が少ないと感じる。
	テーマパーク（職員）	・夏らしい天候にならないと、来園者数が安定しない。
	ゴルフ場（総務担当）	・8月の見込みは3153名で、前年同月比マイナス53名と、今後の営業努力で補完可能である。ただし、天候に左右されやすいため、計画どおりにならないものである。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・ボーナス時期を迎えても商談数は横ばいで、安さを求める客が増えている。
	設計事務所（所長）	・東京オリンピック景気も落ち着きつつあり、増税前の様子見の感じである。
	商店街（代表者）	・天候不順で、やや悪くなる。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・消費税増税が決定すると購買力が落ち込むのではないかと懸念している。
	百貨店（営業担当）	・消費税増税前の駆け込み需要には期待したいが、その後の消費マインドの低下は不可避であり、更なる景況悪化が懸念される。
	百貨店（営業担当）	・今後直近2か月は消費税増税前の駆け込みで、消費は上向くが、10月以降は下向きが予想される。
	コンビニ（経営者）	・例年どおり、7～8月は高温やイベント等で、来客数は増えるが、2～3か月先はイベントや高温、夏休み等がなくなり、来客数が見込めないで、やや悪くなる。
	乗用車販売店（経営者）	・消費税増税が心配である。商材価格が大きいだけに、おいそれと駆け込み需要とはならない上、増税になれば購入意欲が半減してしまう。車が駄目になったときに考えようということになるのではないかと。
	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・客の老後資金問題や消費税増税への不安をあおっているようで、消費につながっていかない。客は、本当に必要な物への最低限の購買へと向かっている。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注が減少しているため、受注残も減少している。
	一般レストラン（経営者）	・増税後、客が節約モードに入ると我々飲食店にとっては厳しくなりそうである。
	スナック（経営者）	・翌日にお酒が残ることを危惧する客が増え、平日の客入りが減っているため、悪くなる。
	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・国際情勢の不透明感が、受託企業の業績にも大きく影響するようになり、値上げ交渉等が進みにくくなっている。また、レストラン事業でも消費者心理に波及し、財布のひもが更に固くなると懸念される。
	都市型ホテル（営業担当）	・まだ、具体的には、かもしれないという段階だが、消費税の関係で、景気は良い方向に向かうというよりは、多少、警戒し、若干下がるのではないかとみている。ホテルについても、そうした影響は受けるのではないかと。
	旅行代理店（所長）	・秋の行楽シーズンに入る時期だが、消費税率改定による駆け込み需要は、旅行ではなく物品の購買に流れると想定される。
	タクシー（役員）	・人手不足が深刻に影響し、やや悪くなる。
	競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪の売上が、徐々に減少している。
	住宅販売会社（経営者）	・年末に向け、景気回復の要因が見当たらないので、悪化傾向は変えられない。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・地方が不景気なのに増税などしたら悪くなるのは目に見えている。何を考えているのか。
×	一般小売店〔青果〕（店長）	・10月から消費税が増税されるので、そうしたことを考えると、悪くなる。
×	衣料品専門店（店長）	・消費税増税の影響は深刻である。
×	乗用車販売店（統括）	・消費税増税のため、悪くなる。

	×	通信会社（経営者）	・やはり増税前の駆け込み需要が、金額が張る商材の注文が増えてきている。必要な物なら2%といえども、安く買いたいというデフレマインドの根強さを感じられる。しかし、世界経済に陰りが見え始め、各国が利下げをし始めているこのタイミングで、日本だけ増税とは間が悪い。	
	×	美容室（経営者）	・美容室では高価格メニューが人気で、例年並みの売上を保っているものの、カット客が5割を占める理容室の落ち込みがひどい。今夏は、冷やしシャンプーのPOPやディスプレイが寒々しい。	
企業 動向 関連  (北関東)		その他製造業 [ 環境機器 ]（経営者）	・太陽光発電の年間発電量はほとんど変わらないため、良くなる。	
		一般機械器具製造業（経営者）	・新規量産アイテムの増産予定があり、秋口からロボット分野や油圧機器分野で、仕事が戻ってくるとの情報もある。この夏の低迷よりは上向き見込みである。	
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先が数社あるが、今のところ半分くらいで受注量等が落ちて余り良くない。7～8月はお盆休みも10日間あるので若干落ちるが、9月からはやや良くなるのではないかと。	
		化学工業（経営者）	・夏が過ぎれば、生産活動や荷動きが活発になると期待しているが、確定的な要素はなく、変わらない。	
		金属製品製造業（経営者）	・主力取引先の昇降機の生産台数が8～9月は減少するものの、10～11月には元に戻るため、変わらない。	
		その他製造業 [ 消防用品 ]（営業担当）	・しばらくはこのまま推移すると考える。	
		輸送業（営業担当）	・7月に出遅れた夏物家電、エアコン等は、出荷増となる見込みである。また、増税前には大型テレビや白物家電などの輸送も増えそうである。全体的には天候不順による青果物などの不作もあり、輸送が一部落ち込みそうなので、前年並みの輸送確保となりそうである。	
		通信業（経営者）	・変わる要素がない。	
		経営コンサルタント	・改元にちなんだ新たな需要は、ほとんどみえない。新しい製品や商材などの供給もなく、販売動向に特段大きな変化は見込めない。	
		司法書士	・現在、仕事の相談が来ている。今までだと、少しずつ落ちていたが、多少上向きで、本当に上向きところまではいかないという状況である。来月は全く変わらないレベルで進むのではないかと。	
		社会保険労務士	・最低賃金が大きく上昇すると、現状、最低賃金で雇用している事業所は厳しい。	
		その他サービス業 [ 情報サービス ]（経営者）	・今回の消費税増税に伴う駆け込み需要は余りなく、変化はない。	
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・当面は現状維持である。	
		金属製品製造業（経営者）	・夏場に向かい、受注量が少なくなる予定である。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・駆け込み需要が見込めない。消費税が10%になるからと既に関心を買控えを始めているのか。当社は住宅設備や医療器関係なので、駆け込み需要を期待していたが、少し厳しそうなのである。	
		建設業（開発担当）	・現政権誕生後公共工事は順調であり、大変有り難いことである。今回参議院選挙があったが、結果与党の安定政権である。ただ今では長期政権の負の部分がかかり如実に表れているが、結果与党の圧勝である。個人的には問題であると思う。日本の将来が心配である。今期当社は受注額が前年比15%減と大変厳しい。何せ公共工事は総合評価なので大手業者が全ての点数で高得点になる。そのため地方でも大手数社が受注する、小規模企業は受注が厳しくなり、どんどんじり貧になっている。今後ますます心配の状況である。	
		建設業（総務担当）	・今後も、発注があるという話は余り聞こえてこないため、少々不安である。	
		不動産業（管理担当）	・既に物資の値上げなどでコストは上昇しているが、消費税増税時にすぐには転嫁できない費用もある。また、求人募集を出してもなかなか採用できないため、求人費用が発生する期間が長くなっており、更なる費用増になる。	
		×	食料品製造業（経営者）	・軽減税率を導入しても、消費税増税は確実に全体の消費行動を冷やし、景気全体をゆっくりと悪化させる。建築業の東京オリンピック特需もそろそろ終了するので、景気全体が更に悪化するのではないかと。

	x	電気機械器具製造業（経営者）	・現在、主要取引先で具体的な新規開発品が見当たらない。
	x	広告代理店（営業担当）	・増税による売上減が、様々な業界で起きるとみている。
雇用 関連  (北関東)		-	-
		人材派遣会社（管理担当）	・食品関連の派遣が増えるため、やや良くなる。
		人材派遣会社（経営者）	・夏休み期間中は、子供を中心にレジャー用品、衣料、食料品等、若干値上がりした物もあるが、購買は伸びていく。これも消費税が上がるか上がらないかの秋口までの状態である。お中元商戦もギフト品は結構伸びているような人の動きがみられた。住宅増改築等の建築関係、製造業は落ち着いたよう形で、10月までは安定基調で伸びていく。
		人材派遣会社（社員）	・日韓、米中等の摩擦があり、特に、韓国は旅行者数が大分減ってきており、キャンセルも多い。私どもの客である宿泊施設等、観光産業に少なからず影響はあるのではないかと。それとは別に人材不足もある。
		人材派遣会社（社員）	・依然として、紹介する人材の不足状況が続く見込みで、変わらない。
		職業安定所（職員）	・留学生の受入れ等を行い、人手不足の解消をしている事業所もあり、人材不足感は続いている。
		職業安定所（職員）	・事業所からの休業情報もあるが、前年に比べて、求人件数が伸び悩んでいることや、以前と比べて、受注に追いつかないという声も少なくなってきたようである。もしかしたら、ピークは過ぎてしまったのではないかと。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・高校生の求人職種の偏りは例年どおりである。人手不足の業界は、今後も求人を出し続けるが、就職希望者がいない。前年度同様、求人はあっても就職できない生徒が出てくるのではないかと。
		職業安定所（職員）	・米中貿易摩擦や日韓関係の悪化、消費税増税に伴う消費の低迷等、明るい材料がない。
		x	人材派遣会社（経営者）